

# 土地(区域)境界図見本

図面番号 R〇〇-〇〇

L形側溝のエプロン部を破線、  
縁石部を実線とする。

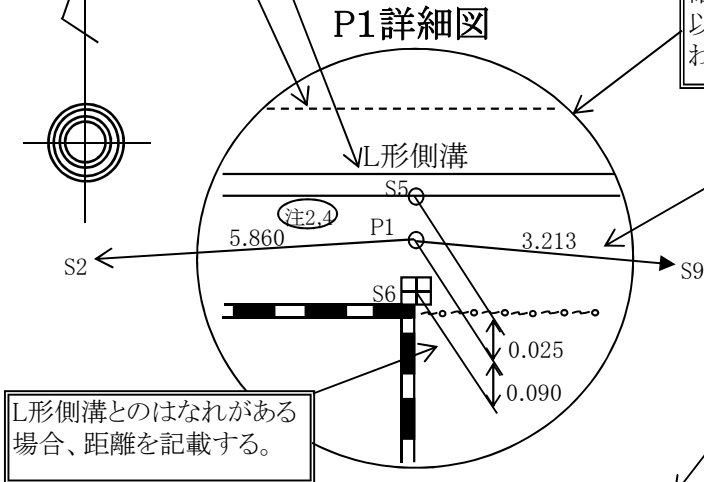
例 <認定幅員3.0間(5.456m)の場合>  
L形側溝民地側S1、S2及びS7、S8を使用し中心振り分けをした場合

確定点(全P点)については、直径4.5cm  
以上の円で詳細図を設け、現地状況が  
わかるように構造物等を記載する。

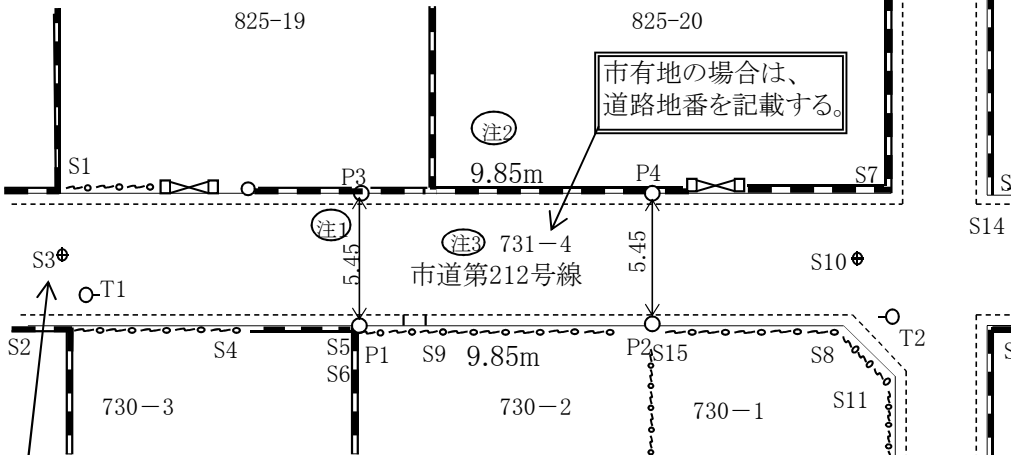
確定点(P点)については、10m以内の3つ以上の引照  
点(任意)からの距離も記載する。(各点の配置角度は  
できるだけ大きめに鈍角にする)

地番については、申請地を含め、合意書が得られ  
た土地についてのみ記載する。なお、丁目が異なる  
場合には、丁目についても記載する。

1マス空ける。



L形側溝とのはなれがある  
場合、距離を記載する。



中心点を設定した場合は、  
S点で記載する。

文言を記載する。

交点計算によりP点(この場合はP1)を算出する  
場合は宅地の民々境界点(この場合S16及  
びS6)を記載する。

\*図内の境界点(P1-P2,P3-P4)を順次結んだ線を境界とする。(土地境界の場合)

\*図内の区域の境界点(P1-P2,P3-P4)を順次結んだ線を道路区域の境界とする。(道路区域の場合)  
なお、道路区域とは、道路法第18条の規定に基づく道路を構成する土地の範囲である。

## 成果表

点名	X	Y	備考
P 1	103.616	125.381	鉄
P 2	102.909	146.577	市金属標 □
P 3	116.796	146.824	鉄
P 4	118.885	143.826	鉄
S 1	104.540	97.465	L形側溝民地側
S 2	99.039	99.282	L形側溝民地側
S 3	101.789	98.374	道路中心鉄
S 4	103.574	125.381	民コンクリート杭田
S 5	98.232	124.399	L形側溝民地側ペンキ
S 6	98.217	124.398	民金属標 田
S 7	102.944	146.594	L形側溝民地側
S 8	102.919	146.594	L形側溝民地側
S 9	97.496	144.937	鉄
S 10	100.207	145.765	道路中心鉄
S 11	96.085	146.415	鉄
S 12	97.444	150.445	L形側溝民地側角ペンキ
S 13	102.917	150.561	L形側溝民地側角刻み
S 14	116.796	146.824	ブロック塀角
S 15	102.918	148.578	民コンクリート杭 田
S 16	116.625	150.821	御影石 □
T 1	100.000	100.000	鉄
T 2	97.653	147.192	鉄

## その他の注意事項

- 注1 幅員については両側確定の場合のみ記載する。また、小数点第3位切り捨てとする。(片側確定の場合は記載しない。)
  - 注2 P点間の辺長については、小数点第3位切り捨てとする。P点・S点間の距離については、小数点第4位切り捨てとする。
  - 注3 道路区域確定の場合、道路敷地の地番は記載しない。(土地境界の場合は、地番を記載する。)
  - 注4 文字・数字の大きさは縦横2mm以上、鮮明に読めるようにする。
- \* 用紙については、強靱な用紙(マイラー#300程度)を原則とし、A3を標準とする。

9~10cm程度

土地(区域)境界図	縮尺	1/250
土地の所在	武蔵野市緑町二丁目730番2ほか	
立会年月日	令和	年 月 日
測量年月日	令和	年 月 日
作成者氏名		
資格、番号等、住所		
TEL	-	

6~7cm程度

印